

- 1 空気よりも軽く、水に溶けやすい気体を集めるための手法は何？
- 2 水溶液にしたときに、リトマス紙を青色に変えるような性質を何という？
- 3 酸化銀を加熱した際に発生する、物を燃やすはたらきを持つ気体は何という？
- 4 1種類の物質に熱を加えて2種類以上の別の物質に分ける化学変化を何という？
- 5 構成する粒子の種類と数を記号で表したものを何という？
- 6 マグネシウムを空気中で加熱した際に生成される、酸素と結合した物質を何という？
- 7 石灰水に通すと白くにごるという特徴を持ち、呼吸や燃焼によって発生する気体を何という？
- 8 物質に電流を流すことで引き起こされる分解反応を何という？
- 9 電流の働きによって、化合物をその構成元素や別の物質に分ける化学変化を何という？
- 10 異なる種類の物質が結びつき、全く別の物質ができる化学変化のことを何という？
- 11 液体を加熱して気体にした後、再び冷やすことで沸点の差を利用して成分を分ける方法を何という？
- 12 炭酸水素ナトリウムを加熱した際に、分解物として生じる物質の一つで、水溶液がアルカリ性を示す塩は何か？
- 13 たたくと薄く広がり、細長く引き伸ばすことができる、金属特有の性質を何という？
- 14 金属の亜鉛から気体を取り出すために実験で用いられる、酸性を示す溶液を何という？
- 15 アンモニアが水に溶けてアルカリ性を示すのは、何というイオンを生じるから？
- 16 物質が酸素と化合して別の物質に変わる化学変化を何という？
- 17 2種類以上の物質が結びついて別の新しい物質を作る化学変化を何という？
- 18 酸とアルカリが反応して、お互いの性質を打ち消し合う反応を何という？
- 19 酸素をO、水素をHのように、アルファベットで物質の構成成分を表したものを何という？
- 20 炭酸水素ナトリウムを加熱したときに、水とともに発生する無色の気体を何という？
- 21 標準気圧のもとで、物質が液体から気体へと変化する温度のことを何という？
- 22 分子式や組成式、構造式などをまとめた、元素記号を使って物質を表す式の総称を何という？
- 23 炭素や硫黄など、金属以外の元素が酸素と結びついてできた化合物を何という？
- 24 マグネシウムを加熱して燃焼させたときにできる、白い粉末状の物質を何という？
- 25 銅などの金属を磨いたときに現れる、独特の輝きを何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>上方置換法</u> は、気体の密度が空気よりも小さい場合に用いられます。		<u>上方置換法</u>	☐
2	<u>アルカリ性</u> を示す物質は、水に溶けると水酸化物イオンを生じます。		<u>アルカリ性</u>	☐
3	酸化銀 (Ag ₂ O) を試験管に入れて加熱すると、銀 (Ag) と <u>酸素</u> (O ₂) に分解されます。		<u>酸素</u>	☐
4	<u>熱分解</u> は、特定の温度まで加熱することで、物質を構成する成分に分ける手法です。		<u>熱分解</u>	☐
5	<u>化学式</u> は、構成する原子の種類と数を元素記号と数字を使って表したものです。		<u>化学式</u>	☐
6	マグネシウムと酸素が化学反応を起こすことで、新しい物質である <u>酸化マグネシウム</u> ができます。		<u>酸化マグネシウム</u>	☐
7	この気体は水酸化カルシウム水溶液である石灰水と反応して、水に溶けにくい白色の沈殿を生じさせます。		<u>二酸化炭素</u>	☐
8	電解質水溶液や融解させた物質に電流を流すと、イオンが各極に引き寄せられ、そこで分解が進みます。		<u>電気分解</u>	☐
9	<u>電気分解</u> は、物質に直接電流を流すことで引き起こされる化学変化です。		<u>電気分解</u>	☐
10	<u>化合</u> は、原子同士が化学結合することで新しい分子や物質を作るプロセスです。		<u>化合</u>	☐
11	<u>蒸留</u> は、混合物の各成分が持つ沸点の違いを巧みに利用する分離手法です。		<u>蒸留</u>	☐
12	炭酸水素ナトリウムを試験管に入れて加熱すると、熱分解により二酸化炭素、水、そして <u>炭酸ナトリウム</u> が生成されます。		<u>炭酸ナトリウム</u>	☐
13	力を加えても金属原子の並びがずれるだけで、結合自体は切れにくいいため、たたくと薄く広がる「展性」や、引っ張ると細長く伸びる「延性」を示します。		<u>展性・延性</u>	☐
14	<u>うすい塩酸</u> は、塩化水素という気体を水に溶かしたものです。		<u>うすい塩酸</u>	☐
15	アンモニアが水に溶けると、一部が水と反応し、アンモニウムイオンと <u>水酸化物イオン</u> に電離します。		<u>水酸化物イオン</u>	☐
16	<u>酸化</u> とは、物質が酸素原子と結びつく化学変化を指します。		<u>酸化</u>	☐
17	<u>化合</u> は、複数の物質が原子レベルで組み合わせたり、元の物質とは異なる性質を持つ新しい物質を作る過程です。		<u>化合</u>	☐
18	この反応を <u>中和</u> といいます。		<u>中和</u>	☐
19	<u>元素記号</u> は、世界中で共通して使われる科学の言語です。		<u>元素記号</u>	☐
20	炭酸水素ナトリウム（重曹）は熱に弱く、加熱すると分解されて炭酸ナトリウムと水、そして <u>二酸化炭素</u> に変化します。		<u>二酸化炭素</u>	☐
21	この温度を <u>沸点</u> といい、物質の種類によって固有の値を持っています。		<u>沸点</u>	☐
22	<u>化学式</u> は、その物質がどの元素から、どのような比率でできているかを示す記号の組み合わせです。		<u>化学式</u>	☐
23	<u>非金属酸化物</u> とは、炭素、硫黄、窒素などの非金属元素と酸素が結合した化合物を指します。		<u>非金属酸化物</u>	☐
24	<u>酸化マグネシウム</u> は、マグネシウムを加熱したときに、まぶしい光を放ちながら酸素と反応して生成される白い粉末状の物質です。		<u>酸化マグネシウム</u>	☐
25	<u>金属光沢</u> は、自由電子が光を反射することで生じる金属独特の性質です。		<u>金属光沢</u>	☐

言えなかった用語ノート